



# 誠之

第72号  
2017

平成29年6月発行

発行責任者 駒谷 行雄  
編集責任者 広瀬 淡  
発行所  
東京都立千歳高等学校誠之会事務局  
〒154-0022 世田谷区梅丘1-16-5  
玉田気付

<http://www.chitose-seishikai.jp>  
E-mail: info@chitose-seishikai.jp

## 平成29年度誠之会総会・記念講演・懇親会

2017年 (平成29年) 7月1日 (土)  
16時総会開始 (15:30受付開始)

■開催場所：三軒茶屋 キャロットタワー 26階  
「レストラン スカイキャロット」  
東京都世田谷区太子堂4-1-1

■懇親会費：5,000円 (49期は半額 2,500円)  
当番期 17・27・37・47・57の各期

■懇親会アトラクション (パフォーマンスライブ)  
池田 邦太郎 (29期) 甘利 行也 (33期)  
高橋 典子 (旧姓 當間 35期) 小松 恵 (旧姓 西田 39期)



記念講演 NPO法人ホップ・ステップ・ハッピー理事長  
福原 俊二郎 (ふくはら しゅんじろう) (23期)  
演 題 「良き師との出会い、  
人生後半は使命感を持って生きる。」

23期生の福原俊二郎と申します。浅学無頼の徒が、2011年の東日本大震災の惨状を目の当たりにして、何をすべきか、何が出来るか、青年たちと一緒に考えて、3月15日から支援活動を始めました。11月には、物資の搬入もさることながら、宮古市の津軽石 (仮設) 保育園を訪問して、子供たちから逆にエネルギーをもらったり、日本一の高さを誇る宮古市田老地区の堤防がもろくも打ち破られた現場に赴き、自然の驚異に人間はどのように対処すべきか、改めて考えさせられました。現在、復興が進んでいる所と、そうでない地域との格差が酷くなっているようです。このような状況下で、これから継続的に支援できる事柄は何か、友人たちと話し合い、趣味の落語をしっかりと練習して、**祝福亭福助**として「笑い」を被災地に届ける NPO 法人が誕生しました。23期の落第生がどんな良き師と出会い、救われたか、**落語者**が最後は使命感を持って活かされている、そのようなお話をさせて頂こうと思っています。



### プロフィール

現職 国際自動車株式会社城北勤務 (契約社員)

1967年 都立千歳高校卒業  
1969年 熊本工業大学入学  
1970年 同大学中途退学  
1970年 法政大学通信教育部入学  
1974年 同大学中途退学  
1989年 産業能率短期大学入学  
1991年 同短期大学卒業

職歴

1970年 東京都立光明養護学校 介助職員  
1974年 職業病により、退職  
1974年 東京土建一般労働組合大田支部入局  
1977年 同労組退職後、日劇の元プロデューサー矢田茂先生と出会い、ハンディキャブ宣告キャンペーンを実現。他